

丹沢たかし活動報告

市川三郷町市川大門1227 TEL/FAX 055-272-0413 丹沢たかし後援会



ごあいさつ

寒い冬から一転、例年より早く花咲く季節を迎えました。

今年は、「明治維新 150 周年」・「身延線富士～甲府間全線開通 90 周年」、来年は「甲府開府 500 年」など、歴史的な出来事の節目の年となります。特に、来年5月1日に新天皇陛下の「即位の礼」の儀式があり、新たな年号が制定されます。「平成」も残り1年。歴史のひとつの区切りを迎えます。どのような町を後の世代に引き継ぐのか、今の世代として、今できること、しておかなければならないことを果たす役割が求められます。

より魅力あるまちづくりのために、皆様とともに取り組んでいきたいと思っております。

市川三郷町ゆかりの会 県人会「りんどう」

- 昨年5月発足
- 平成30年度総会予定
 - ・ 7月22日(日) 11:30～
 - ・ 東京ガーデンパレス(文京区湯島)
- 町民も会員対象とする「連携型」県人会
- * 会員数(合計149)
 - ・ 個人 町外 54、町内 71
 - ・ 法人 町外 3、町内 21
- 会員申し込みは随時受付けています(町ホームページ参照)
- 事務局 町政策推進課

【所属委員会等】

- 土木環境常任委員会(副委員長)
- 議会広報編集特別委員会
- 議会改革特別委員会
- ふるさと夏まつり実行委員会
- 環境審議会
- 土地利用審議会

※定例議会は、年4回(3月、6月、9月、12月)にほぼ2週間の会期で開催されます。

この他に、必要により臨時会が開かれます。

旧市川大門町役場跡地の桜



- この桜の木は、新高校建設に伴い、碑林公園に移植されます。戦時中当町に疎開した東京目黒区の方々により、昭和58年11月に記念植樹されました。碑林公園には、同じ目黒区の方々により平成17年にしだれ桜が植樹されています。
- 同役場跡地にある二宮金次郎像は、市川小学校に移されます。
- 町指定文化財の「代官所のフジ」は現在の場所に残ります。

【議会改革特別委員会】

- 全議員で構成
- 今年9月の町議会議員選挙に向けて、議員定数(現在16名)について協議しています。

平成30年3月定例議会の概要

金額：万円未満四捨五入

■会期 3月5日(月)～16日(金)の14日間

条例の制定・改正、平成29年度一般会計・特別会計補正予算、平成30年度一般会計・特別会計当初予算など、48議案が提出され、いずれも原案どおり可決、承認されました。

■主な議題等

金額：万円未満四捨五入

●29年度一般補正予算 補正後 99億9,132万円（当初予算は91億8,446万円）

●30年度当初予算

・一般会計	121億3,885万円	（前年比 +29億5,439万円 +32.17%）
・特別会計（15会計）	56億7,996万円	（前年比 -4億6,739万円 -7.60%）
（うち国民健康保険特別会計	18億3,959万円	
介護保険特別会計	21億3,013万円	
・総額	178億1,881万円	（前年比 +24億8,700万円 +16.22%）

【一般会計歳入 主な項目】（ ）内は構成比率 【 】は対前年比

・地方交付税	36億2,624万円	（29.87%）	【 +1億9,296万円】
・町債	35億3,887万円	（29.15%）	【 +25億5,238万円】
・町税	16億4,558万円	（13.56%）	【 -3,257万円】
【内訳】 固定資産税	7億5,400万円	； 町民税	7億785万円
町たばこ税	8,590万円	； 軽自動車税	5,470万円
入湯税	4,303万円		
・寄付金（ふるさと納税）	4,500万円	（0.22%）	

●主な新規事業

・八乙女自治公民館建設事業	5,066万円
・ 幼児・児童給食費無料化事業	4,173万円
・保育所取壊撤去事業	2,160万円
・洪水ハザードマップ更新事業	500万円
・観光施設内トイレ様式化改修事業	371万円
・移動販売業務委託料	60万円



今年も大きな花をつけた庭のボタン

●主な継続事業

・新施設整備事業	26億8,806万円
・峡南医療センター負担金	2億7,980万円
・町道矢作上野線新設改良事業	1億8,160万円
・つむぎの湯・いきいきセンター事業	8,311万円
・子育て支援医療費助成事業	6,547万円
・長寿・医療費給付金事業（88歳以上対象）	2,989万円
・ニードスポーツセンター事業	2,535万円
・ふるさと納税特産品贈呈事業	2,262万円
・若者定住促進住宅補助金事業	814万円



天然記念物町指定文化財「代官所のフジ」

●介護保険条例改正

「第7期介護保険事業計画・高齢者福祉計画（平成30年度～32年度）」の策定に伴い、介護保険料を改定

一般質問 3月議会で以下の質問を行いました。

*詳細は市川三郷町ホームページ「議会会議録」に掲載されます。

◆《町内移住者交流会の開催について》

Q: 花火師を目指しての移住や、町内で農業研修し独立した若い移住者が町内にいる。町への要望やアイデアを聞く機会として、また、対外的発信により新たな移住者の確保につなげるなどの効果を期待できる「移住者交流会」の開催を。

A: 平成29年度は移住説明会の東京開催セミナーに4回参加した。30組弱の相談者があったが、移住には至っていない。町では、政策推進課を移住相談窓口としている。今後とも要望への対応窓口として、具体的事案に対応していく。

Q: 受け身でなく、積極的な取組みが求められる。

A: セミナー参加回数を増やすとともに、相談者に対しては継続的なアプローチでの情報発信に努める。

Q: 既存町民を含めた移住者交流会の開催により、外部から見た町の魅力の再発見などのプラス効果が考えられる。前向きな検討を。

A: 新年度では、課横断的なチームで知恵を出し合い、施策を考える取組みを検討したい。

◆《学校法人日本体育大学との協定内容について》

Q: 昨年12月、全国で49番目、山梨県で小菅村に次ぎ2番目の協定を締結した。協定書の概要は。

A: 市川三郷町県人会会長で、町ふるさと大使を務める今村裕氏が学校法人の日本体育大学の常務理事である縁で協定締結に至った。趣旨は、スポーツなどを通じて健康づくり全般の相互協力である。相互の体育施設等を利用しながら幅広い世代での交流が可能となり、健康年齢の改善も期待できる。

Q: 先行自治体での活動内容は。

A: 大学内の施設に小中学生を中心に受け入れ、最先端のトレーニング機器の使用、基礎から高度なスポーツに触れながらの学生との交流。五輪選手などとの交流。自治体へ学生や教授を派遣し、ヒップホップ演技披露、小中学校教員向けの組体操指導などである。

Q: 新体育館のこけら落としに、市川高校と日体大のバスケット試合なども考えられる。本町ではどのような活動を想定しているのか。

A: 管内小中学校やスポーツクラブなどから要望を受け入れる準備中である。それにより大学と調整する。

Q: 当町の地場産業製品が活用されるとのことだが、具体的には。

A: 日体大系列の9校で、卒業証書・激励文・学位書等表彰に関係する用紙は市川三郷町産を使用することで理事長通達が出された。印鑑活用についても好感触を得ている。

Q: 継続的に一定量への対応が必要となるが、対応体制は。

A: 和紙の新しい販売経路の確保として和紙協同組合での体制を作ることとしている。県内大学にも同様アプローチをする。

Q: 健康づくりの先進的な自治体として全国に発信できるまちづくりに向けた取組みを。

A: 健康づくりをキーワードに活用化に向け取り組む。

建設進む新保育所



- 名称「市川富士見保育所」
- 市川保育所と富士見保育所を統合
- 統合時期 今年8月
暫定措置として、4月～7月の間3歳児未満は富士見保育所へ、3歳児以上は市川保育所へ通園
- 園舎は鉄筋コンクリート、一部二階建
- 定員110人
- 総事業費、約8億4000万円

Kyounan フォトロゲイニング With 歌舞伎&落語開催

- 6月23日(土)開催
(今年初めての開催)
- 地図をもとに、時間内にチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツ。
- 市川三郷町と富士川町で共催
- スタート&ゴールは、平塩・文化と武道の館
- 時間内に自分たちのペースで可能なポイントを選んで回る
- ①主催者から配られる地図をもとに作戦を立てる
②チェックポイントへ移動
③写真を撮影(ポイント獲得)
④ゴール
- 参加費 一般 3,000円
中高生 1,000円
小学生以下 無料

中部横断自動車道 六郷以南の開通予定

- 六郷IC～下部温泉早川IC
2018年度(平成30年度)
- 下部温泉早川IC～南部IC
2019年度(平成31年度)
- 南部IC～新清水JCT
2018年度(平成30年度)

市川小学校卒業式に出席し、議会を代表して祝辞を述べました。

【平成29年度市川小児童数】

- ・ 6年生 53名(卒業生)
- ・ 5年生 77名
- ・ 4年生 52名
- ・ 3年生 62名
- ・ 2年生 44名
- ・ 1年生 56名

宛先などに誤りがございましたら、なにとぞご容赦ください。

なお、お知らせいただければ幸いに存じます。



紙のまち生き生きまつり 3月17日(土)

